

<今週の内容>

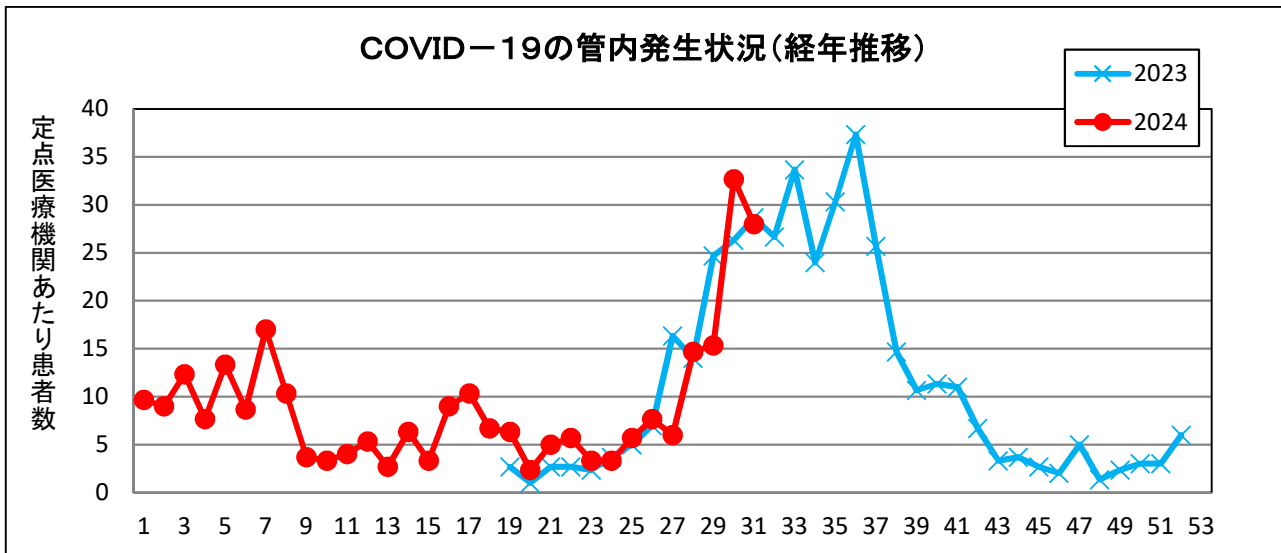
- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）
手足口病が、依然、警報レベルとなっています。
- 3 県内の感染症発生状況（麻しん）

1 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週28.00人（先週32.67人）で先週から減少し、兵庫県内の定点あたり報告数も今週13.86人（先週15.36人）となり、先週から減少しました。地域別では、福崎保健所管内が42.00人と最も多く、当所管内28.00人、赤穂保健所管内21.83人となっており、年齢別では、80歳以上が12%と最も多く、10歳代、50歳代及び70歳代が各々11%となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、当所管内分1件を含め、今週16件（先週19件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注) 2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)
[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス\(COVID-19\)関連情報ページ](#)

2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

- (1) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）
第31週は、報告はありませんでした。

(2) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

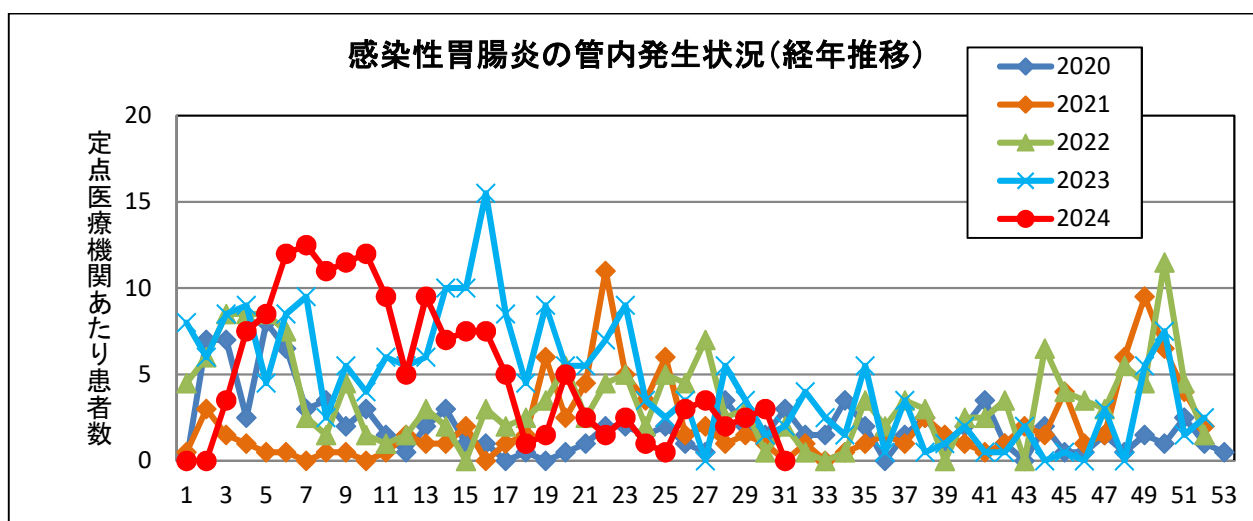
（2024年3 | 週）※定当：定点あたり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
2	0.67	1	0.5	-	-	-	-	-	-	2	1	14	7	-	-	-	-	84	28

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4(ロタウイルス)	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が0人で、先週（3.00人）から減少し、兵庫県でも3.29人で、先週（3.71人）から減少しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

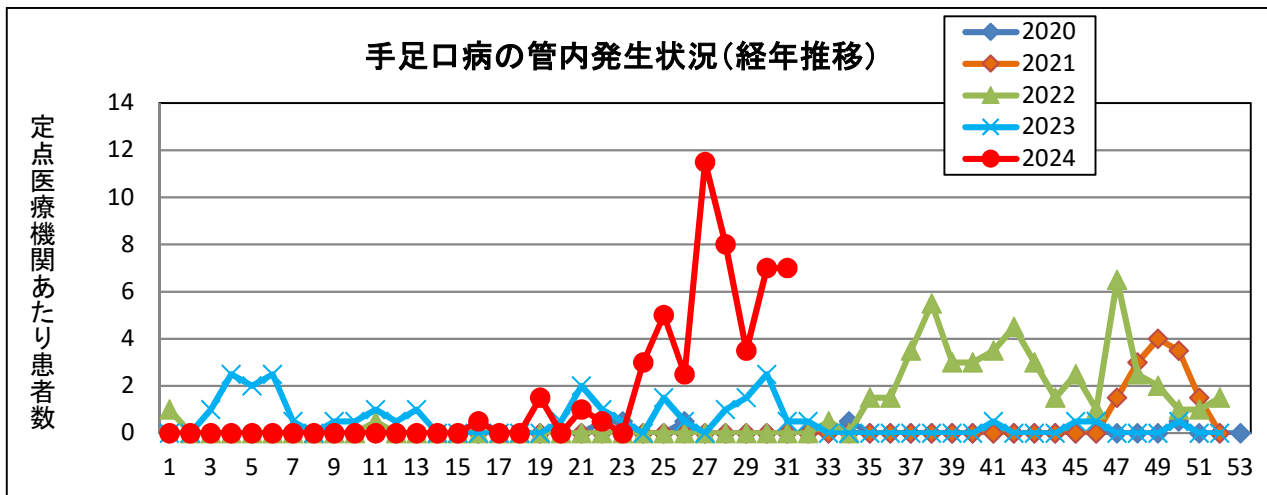
◆兵庫県ホームページ

[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[感染性胃腸炎とは](#)

また、管内の手足口病の定点あたり患者数は7.00人で、先週（7.00人）から横ばいで、依然、流行レベル基準値（5.00人）を超えており、警報レベルとなっています。兵庫県では9.18人で、先週（11.65人）から減少しました。手足口病は、手のひら、足の裏、口の中、おしりなどに米粒大の小さなもりあがった発疹が見られます（1週間程度で治ります）。ときには手や足の甲にも出ることがあります。よだれも増え、37～38℃の発熱が1～3日程度続くことがあります。手足口病のウイルスは、おもに便や鼻汁などの分泌物のなかにおり、手を介して口に入ることで感染するので、用便の後などはきちんと手洗いすることが大切です。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[夏の感染症にご注意を!](#)

◆厚生労働省ホームページ

[手足口病に関する Q&A](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[手足口病とは](#)

3 県内の感染症発生状況 (麻しん)

8月5日に神戸市で麻しん患者発生(発症日は7月29日)がありました。7月30日まで神戸市内での行動歴があり、3週間後の8月20日までは新たな患者発生の可能性があります。麻しんに感染すると、約10~12日の潜伏期間(最大21日間)の後、発熱、発疹等の症状が現れます。また、感染力が強く空気感染するため手洗いやマスクでは十分に予防できません。予防接種を受けたことがなく、麻疹にかかったことがない人はワクチン接種を検討しましょう。麻しん患者と接触した可能性があり、麻しんを疑う症状が出現した際には医療機関に事前連絡の上、公共交通機関の利用を避けて受診してください。また、医療機関におかれましては、臨床症状等から麻しんを疑う場合は、直ちに保健所にご連絡いただきますようお願いいたします。

<麻しんに関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[麻しん\(はしか\)について](#)

◆神戸市ホームページ

[麻しん・風疹に注意!](#)

◆厚生労働省ホームページ

[麻しんについて](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[麻疹とは](#)